

禁忌(次の部位には使用しないこと)

瘻孔、挫創等本剤を使用した際に体腔にしみ込むおそれのある部位【空気塞栓を起こしたとの報告がある】

【組成・性状】

- 組成 本品は定量するとき、過酸化水素(H₂O₂: 34.01) 2.5~3.5w/v%を含む。
添加物としてフェナセチンを含む。
- 性状 本品は無色澄明の液で、においはないか、又はオン
ンようのにおいがある。
pH: 3.0~5.0
比重 d₂₀: 約1.01

【効能・効果】

創傷・潰瘍の殺菌・消毒。外耳・中耳の炎症、鼻炎、咽喉頭炎、扁桃炎などの粘膜の炎症。口腔粘膜の消毒、齶窩及び根管の清掃・消毒、歯の洗浄、口内炎の洗口。

【用法・用量】

創傷・潰瘍: 原液のままあるいは2~3倍希釈して塗布・洗浄する。
耳鼻咽喉: 原液のまま塗布、滴下あるいは2~10倍(耳科の場合、時にグリセリン、アルコールで希釈する)希釈して洗浄、噴霧、含嗽に用いる。
口腔: 口腔粘膜の消毒、齶窩及び根管の清掃・消毒、歯の洗浄には原液又は2倍希釈して洗浄・拭掃する。口内炎の洗口には10倍希釈して洗口する。



販売名: オキシドール[®]「昭和」[®]

TRADE MARK



日本標準商品分類番号 872614	外用殺菌消毒剤
承認番号 (61AM) 第2409号	薬価基準収載

日本薬局方

オキシドール
販売名: オキシドール[®]「昭和」[®]
500mL

昭和製薬株式会社
大阪府守口市南寺方東通1-4-12

【使用上の注意】

- 重要な基本的注意 長期間または広範囲に使用しないこと。
 - 副作用 本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
(1) 重大な副作用 空気塞栓: 空気塞栓を起こすことがあるので、循環動態に異常を認めた場合など空気塞栓が疑われる症状がみられた場合は、速やかに本剤の使用を中止し、適切な処置を行うこと。
(2) その他の副作用 口腔: 連用により口腔粘膜を刺激(頻度不明)することがある。
 - 適用上の注意
(1) 投与経路: 外用にのみ使用し、内服しないこと。
(2) 使用時:
1) 眼に入らないように注意すること。入った場合には、水でよく洗い流すこと。
2) 易刺激性の部位に使用する場合には、正常の部位に使用する場合よりも低濃度とすることが望ましい。
3) 深い創傷に使用する場合は希釈液としては、注射用水か滅菌精製水を用い、水道水や精製水を用いないこと。
4. その他の注意 長期大量経口投与によりマウスの十二指腸に腫瘍の発生が認められたとの報告がある。
- 【取扱い上の注意】**
配合禁忌: 酸化剤、還元剤、アルカリ性により分解する。
貯法: 遮光した気密容器に入れ、30℃以下で保存する。

GS1 <調剤包装単位用コード>

(01) 0495049801176

GS1 <販売包装単位用コード>

(01) 14950498120816



4 950498 120819

3001/401